

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

稲作農家 各位

山武稲作情報 第3報(2017年6月16日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

4月下旬に移植した早生品種「ふさおとめ」「ふさこがね」は幼穂形成期を迎えています。5月下旬以降気温が平年並に推移し、晴れた日が多かったため、生育量は平年並です。また、茎数が少ないほ場も見られますので、生育に応じた管理を行ってください。

参考 生育調査ほの調査結果 (調査日 6月14日)

品種	場所	年	移植日	葉令	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本 /m ²)	葉色 SPAD	葉色 カラー スケール	幼穂 形成期
ふさ おとめ	山武市 (白幡)	29	4/26	10.7	41.0	25.9	608.7	39.7	4.9	(6/21)
		28	4/27	11.2	45.0	26.0	572.8	43.0	5.3	6/20
		平年値	4/28	10.2	48.2	28.6	490.2	41.5	5.2	6/18
ふさ こがね	山武市 (成東)	29	4/25	9.7	48.4	29.7	549.5	38.5	4.8	6/15
		28	5/1	10.1	45.0	29.0	543.9	38.3	4.7	6/18
		平年値	5/1	9.5	41.3	32.3	597.8	42.0	5.2	6/23
コシ ヒカリ	東金市 (北之幸 谷)	29	4/28	10.0	48.0	20.5	385.4	36.5	4.5	(6/24)
		28	4/25	9.9	56.0	39.0	698.1	39.5	4.9	6/24
		平年値	4/23	9.6	51.8	30.7	543.3	42.0	5.2	-
コシ ヒカリ	山武市 (成東)	29	4/25	9.0	49.7	31.0	573.5	34.6	4.3	(6/21)
		28	5/1	9.4	44.0	28.0	512.5	39.5	4.9	6/24
		平年値	5/1	9.1	42.8	29.9	553.2	40.9	5.1	-
ふさの もち	山武市 (成東)	29	5/10	8.6	33.9	29.5	545.8	36.1	4.5	(6/24)
		28	5/11	8.4	40.0	29.0	529.1	39.5	4.9	6/30
		平年値	5/9	8.7	38.4	28.5	527.3	41.3	5.1	-

平年値は過去10年間(ふさのちは7年間)の平均値。H29年度の幼穂形成期()は推定日。

今年度からコシヒカリのほ場が東金市北之幸谷から東金市幸田に変更となりました。

【飼料用米】

品種	場所	年	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本 /m ²)	葉色 SPAD	葉色 カラー スケール	幼穂 形成期
アキヒカリ	山武市	29	4/26	51.0	42.9	675.6	40.8	5.1	6/13
夢あおば	山武市	29	5/14	40.0	24.2	458.2	43.6	5.4	-

飼料用米の受付は6月末日までです。

郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXへ切り替えを進めています。電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 水鳥 k.mztr@pref.chiba.lg.jp、 0475-54-0226 (電話)

難防除雑草の生態と防除について

イモ（塊茎）を持つ雑草は、ダラダラと長期間にわたって発生するため、一発除草剤だけでは防除しきれません。雑草の生態を知り、的確な除草剤を選択し、体系防除を行う必要があります。また、塊茎の寿命は長いので、数年間継続して体系防除を行う必要があります。

○クログワイ

発生は5月上旬から10月下旬まで続きます。地下茎で増殖し、9月上旬から多数の塊茎を形成します。ホタルイに似ていますが、塊茎の有無等で区別します。

〔体系防除の例〕

- ① 移植直後 : サラブレッドKAIフロアブル、バッチリ1キロ粒剤 等
- ② 移植20日後～ : ザーベックスSM粒剤、アトトリ1キロ粒剤 等
- ③ 幼穂形成期前（収穫50日前まで） : バサグラン液剤 等
- ④ 稲刈り後 : 早期の耕うんや非選択性除草剤で、塊茎の形成を抑える

○コウキヤガラ

3月中旬から発生し、代かき時には草丈20cmになる株も見られます。地下茎で増殖し、7月初めから新しい塊茎を形成します。地上部は稲刈り時には枯死しています。

〔体系防除の例〕

- ① 代かき時 : 浅水で丁寧に代かきをし、発生株を埋没、枯死させる
- ② 移植直後 : サキドリEW、トップガンGT1キロ粒剤51 等
※ サキドリEWを移植前に使用する場合は、河川等への流出を防ぐため、移植まで7日以上あけます。【農薬使用基準】
- ③ 移植20日後～ : ワイドアタックSC、移植15日後～ : サンパンチ1キロ粒剤 等
- ④ 幼穂形成期前（収穫50日前まで） : バサグラン液剤 等

○オモダカ

塊茎は大型で休眠性があり、地表下20cmの深さからも出芽します。発生は5月上旬から始まり、代かき後30日頃に最盛期となり、8月上旬まで続きます。

〔体系防除の例〕

- ① 移植5日後～ : エーワンフロアブル、ポデーガードプロフロアブル 等
- ② 移植20日後～ : アトトリ1キロ粒剤、移植15日後～ : サンパンチ1キロ粒剤 等
- ③ 幼穂形成期前（収穫50日前まで） : バサグラン液剤 等剤
- ④ 稲刈り後 : 早期の耕うんや非選択性除草剤で、塊茎の形成を抑える

ク
ロ
グ
ワ
イ



コ
ウ
キ
ヤ
ガ
ラ



オ
モ
ダ
カ



次回の情報は6月28日（水）に発行する予定です。